

(関係部門へご回覧下さい)

金融機関行職員のための 金融内部監査入門

- ★ 本コースは、金融内部監査の実務を理解し、その高度化を図っていくことを目的としています。
- ★ 第一部では、内部監査の定義、目的、機能など基礎的事項を整理し、金融機関におけるリスクベース監査の実務に関して体系的な解説を行うとともに、その高度化に向けた視点を提示します。
- ★ 第二部では、①リスク管理態勢の内部監査、②コンプライアンス態勢の内部監査、③システム監査などの個別テーマを取り上げて、内部監査人としての専門的能力を高めることを目指します。
- ★ 内部監査部門に配属されて経験の浅い管理者、実務担当者を主な対象としますが、リスクベース監査の実務を体系的に習得し直したい、内部監査人として専門的能力の更なる向上を図りたい、と考えている方にも参考になる内容です。

開催日：2020年7月16日（木）・17日（金） 2日間

会場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

監修：日本金融監査協会

講師：

（ご講演順）

FFR+代表（日本銀行金融高度化センター） 碓井 茂樹 氏
伊佐地 立典 氏
行方国際法律事務所 代表弁護士 行方 洋一 氏
有限責任監査法人トーマツ ディレクター 御正 直義 氏

主催：日本金融通信社

<https://www.nikkin.co.jp/cmc.html>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援 一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

☆コースのねらい

本コースは、金融内部監査の実務を理解し、その高度化を図っていくことを目的としています。

第一部では、内部監査の定義、目的、機能など基礎的事項を整理し、金融機関におけるリスクベース監査の実務に関して体系的な解説を行うとともに、その高度化に向けた視点を提示します。

第二部では、①リスク管理態勢の内部監査、②コンプライアンス態勢の内部監査、③システム監査などの個別テーマを取り上げて、内部監査人としての専門的能力を高めることを目指します。

☆研修の対象

内部監査部門に配属されて、経験の浅い管理者、実務担当者
リスクベース監査の実務に関して習得し直し、実務に役立てたいと考えている方
内部監査人として専門的能力の更なる向上を図りたいと考えている方

☆開催要綱

日 時：2020年7月16日（木）、17日（金）2日間

時 間：1日目 9：30～16：30（9：00受付開始）

2日目 9：30～16：00（9：00受付開始）

会 場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料：

・研究会会員価格 63,800円（本体価格 58,000円、消費税 5,800円）

・後援協会会員価格 68,200円（本体価格 62,000円、消費税 6,200円）

・一般価格 72,600円（本体価格 66,000円、消費税 6,600円）

（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

定 員：40名（最少開催人員10名）

※ご紹介欄です

日本金融監査協会（IFRA）
（Institute of Financial Risk management and Audit）

金融危機後、リスク管理機能の強化を図るだけでなく、その有効性を検証する監査機能の強化を併せて図る重要性が増しています。こうした認識の下、金融界の有識者、実務家が組織の枠を超えて集まり、2011年3月、日本金融監査協会は設立されました。

日本金融監査協会は、ガバナンス、リスク管理、監査等に関わる高度な人材の育成を支援することを活動の目的にしています。

ホームページ <http://www.ifra.jp>

参考図書 日本金融監査協会編「内部監査入門」（金融財政事情研究会）

※受講者の方には、特別価格で販売いたします。

（セミナー当日にお申し込みで2割引、後日郵送＜送料無料＞）

金融機関行職員のための

金融内部監査入門

カリキュラム

(1日目) 7月16日(木)	(2日目) 7月17日(金)
<9:00受付開始>	<9:00受付開始>
第1部 総論	第2部 各論
(9:30~11:20)	(9:30~11:20)
1. 金融内部監査の現状と高度化への課題	3. リスク管理態勢の監査ポイント
FFR+代表 (日本銀行金融高度化センター) 碓井 茂樹 氏	FFR+代表 (日本銀行金融高度化センター) 碓井 茂樹 氏
<ul style="list-style-type: none">・内部監査に求められるもの・内部監査の定義、目的、機能・リスクベース監査の実践・オフサイトモニタリングの強化・専門的能力の向上・フォローアップの強化・内部監査の品質評価・ガバナンス改革と経営監査 (質疑応答)	<ul style="list-style-type: none">・VaR とストレステスト、シナリオ分析・リスクアペタイト・フレームワーク・内部監査のポイント (質疑応答)
(昼食休憩)	(昼食休憩)
(12:20~16:30)	(12:20~14:10)
2. リスクベース監査の実務	4. コンプライアンス態勢の監査ポイント
伊佐地 立典 氏	行方国際法律事務所 代表弁護士 行方 洋一 氏
<ul style="list-style-type: none">・リスクベース監査の流れ リスクアセスメント 監査計画の策定・リスクベース監査の実施 本部監査と営業店監査 監査報告書の作成 フォローアップ・まとめ (質疑応答)	<ul style="list-style-type: none">・コンプライアンス態勢の監査 ー経営理念とリスクベースの重要性・「顧客本位の業務運営」 ー利益相反管理・不祥事件防止態勢・マネロン等防止態勢 (質疑応答)
(12:20~16:00)	(14:20~16:00)
5. システム監査のポイント	有限責任監査法人トーマツ
	ディレクター 御正 直義 氏
<ul style="list-style-type: none">・システム監査の基礎・内部監査のポイント (質疑応答)	<ul style="list-style-type: none">・システム監査の基礎・内部監査のポイント (質疑応答)

※2日間とも昼食はこちらで用意いたします。

FAX 03-3261-4570 セミナー事務局まで

12

第92回 金融機関 内部管理コース 金融機関行職員のための

金融内部監査入門

ホームページ用受講申込書（7月16日～17日開講）

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

受付番号	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料 A：研究会会員価格 63,800円（本体価格58,000円）

B：後援団体会員価格 68,200円（本体価格62,000円）

C：一般価格 72,600円（本体価格66,000円）

お問い合わせは、株式会社 日本金融通信社

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 (名義) 株式会社 日本金融通信社

振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

受講についてのお願い

①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。

②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。

③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。

振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。

④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。

⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。

⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。